

「大野川橋体験学習」

- 1 日程 : 平成30年7月2日(月)
- 2 場所 : 九州横断道(嘉島～山都) 大野川橋上部工工事現場
- 3 主催 : 株式会社 名村造船所
- 4 参加 : 土木科1年生 40名
- 5 学習内容

今回、名村造船所が建設中の大野川橋上部工工事現場を体験学習することとなった。名村造船所は、鋼製桁橋を製造している会社であり、もともと造船からの溶接や切断の技術を応用して、鋼製の橋梁を造っている。今回は、体験学習であり、これまでの現場見学会とは一味違うものとなった。対象は、1年生のため、予備知識はほとんどない生徒である。難しい構造の話ではなく、ボルト締めや名村特製木製桁架設ということで、自社でコンパネを使って鋼製桁の代わりに木製の桁をつくってもらい、そこにボルトを入れ、架設の体験をするという新たな取組もあった。

まず、生徒は3班に分かれ、①木製桁架設体験 ②高所作業車体験 ③本締め体験 ④160tオールテレーンクレーン乗車体験の4つの体験をすることになった。3班に対して4つの体験があれば、1コースは余ることになり、時間の関係上、スムーズに体験をすることができた。



①木製桁架設体験



②本締め体験



③高所作業車



④160tオールテレーンクレーン操作

6 生徒の様子および感想

これまでの見学会とは異なり、体験型だったので、1年生にとって初めての建設現場は、楽しく感じられたのではないかと思います。対応していただいた作業員の方々が、気さくで優しく接してくれたので、生徒達の活発な体験を引き出すことができたと思う。やはり、土木科は、大自然をバックに、大型重機、大規模構造物を造っている現場は、生徒達に大きな魅力を提供してくれた。